

教育研究データ			
1. 氏名	田村 進		
2. 生年月	1969年8月		
3. 取得学位	博士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2015年4月	① iPad を活用して、授業中の学生の活動状況等の把握に努めている。	
	2016年9月	② 事前・事後学修として実施した内容を、Glexa を用いて提出させている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
① 保健体育科・スポーツ教育重要用語 300 の基礎知識	共著	1999年 8月	明治図書
② 心理学への扉—心の専門家へのファーストステップ—	共著	2006年 5月	北大路書房
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① Relationship between the Skill Level and <i>Metsuke</i> in Kendo Players	共著	2010年 12月	『 <i>The ICHPER・SD Journal of Research</i> 』第2巻第2号, 1-8
② Study on <i>Metsuke</i> by Kendo Players with Different Skill Levels	共著	2013年 12月	『 <i>The ICHPER・SD Journal of Research</i> 』第5巻第2号, 45-55
③ 剣道選手の熟練度と「遠山の目付け」の関係の検討	共著	2015年 3月	『広島文教女子大学心理学研究』第1巻第2号, 59-66
④ バスケットボール選手への注意集中の意識づけがフリースローパフォーマンスに与える影響	共著	2016年 9月	『広島文教女子大学心理学研究』第3巻第1号, 47-58
⑤ Numbers of information-processing stages and cues for	共著	2021年 10月	『対人コミュニケーション研究』第8巻, 1-13

determination in Kendo players with different skill levels		
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
① 対応事態の段階的学習がテニススキルの修得に及ぼす効果について	2009年11月	中国四国教育学会第61回大会
② マット運動における要約フィードバックの有効性について—側方倒立回転の場合—	2010年11月	中国四国教育学会第62回大会
(4) 所属学会		
① 日本体育・スポーツ・健康学会		
② 日本スポーツ心理学会		
③ 日本コーチング学会		
④ 日本発育発達学会		
⑤ 日本体育測定評価学会		